

海外生活 エッセー

シドニー事務所

Hidden gems を見つけたい！ ～ウォーキングの魅力～

(一財)自治体国際化協会シドニー事務所 所長補佐 辻脇 佳奈 (和歌山県派遣)

ニューサウスウェールズ (NSW) 州の州都・シドニーの魅力の1つといえば、大都会にも関わらず山や海などの自然が近くにあることが挙げられるのではないのでしょうか。休日には芝生やビーチに寝そべってくつろいだり、ピクニックやバーベキューを楽しんだりするオーギーの姿を多く見かけます。赴任当初、公園などに無料のバーベキュースペースが多数設置されていることに気づき驚いたことを思い出します。

シドニー駐在も1年が過ぎましたが、こちらに来てから楽しんでいることはズバリ「ウォーキング」です。18歳で車の運転免許を取得してから、車移動の生活にすっかり慣れてしまっていたのですが、改めて歩くことの楽しさに気づき、シドニーの自然に魅了されています。日本では見ることができない景色や動植物に出逢えることは大変面白く、毎回違う発見があります。森林の中や海岸沿いなどさまざまなエリアでウォーキングを楽しむことができ、これまで多くのトレイルを歩きました。



お気に入りのトレイルから見えるシティの景色

オーストラリアでは、もともと先住民のアボリジナル文化において、歩くことでその土地や歴史、人々を深く理解し、それが国を大切にする方法だとされてきました。このような文化を大切にしたいという思いから、NSW 州政府は、人々が歓迎されつながらを感じられるような公共スペースの整備や、それに伴うウォーキング

の促進に取り組んでいます。NSW 州政府のサイトには“Walks Near Me Map”という州内の公園やビーチ、図書館などへのアクセスを検索できるデジタルマップが掲載されており、ウォーキングのルートや周辺施設の検索に役立っています。あまり知られていない隠れた絶景“Hidden gems”を検索することもできます。

もちろん、検疫が厳しい国といわれるだけあって自然保護を一番に考えており、各トレイルの入り口には、自然を保護するための注意書きの看板が数多く設置されています。また、各地域に自然保護のボランティア団体があり、定期的に雑草を取り除いたり、在来種の再生に取り組んだりしており、地域全体で自然を保護していることが印象的です。余談ですが、各州政府にボランティアに関する長期戦略プランが策定されており、一般的にボランティアに対する意識が高く積極的です。



“Environmentally Sensitive Area”と書かれた看板

あまりに歩きすぎて、一時は足底腱膜炎を引き起こし、医療機関に通う羽目になりましたが、もともと自然やアウトドアアクティビティが好きな私にとってシドニーは最高の場所であり、日々癒やされています。引き続きウォーキングを楽しみ、私だけの“Hidden gems”を見つけないと思います。そして、私がウォーキングを通じてこの国への理解を深めてきた経験を活かし、自然が大好きなオーギーに、一人でも多く私の地元・和歌山県の世界遺産、高野山町石道や熊野古道を歩いてもらえるよう、今後も和歌山県をPRしていきたいと思っています。